

まちかど・ズームIN!

みなさんからの素敵な情報を待ってます!

心温まる贈り物

大鷹沢小児童がサナトリウム慰問



11月9日、大鷹沢小学校の児童が仙南サナトリウムを訪れ、伝統の踊りなどを披露して患者との交流を深めました。

慰問に訪れたのは5年生を中心に33人で、「私たちが孫と思って楽しいひとときを過ごしてください」とあいさつをしたあと、歌や太鼓、あだ打ちをテーマにした「団七踊り」を披露しました。団七踊りでは、刀やなぎなたをさっそうと振る子供たちの姿に、お年寄りたちは盛んに拍手を送っていました。

元気に歌って、笑って、食べて

本郷第三地区「みんなで楽しむ会」



本郷第三福祉のまちづくり推進協議会主催の「みんなで楽しむ会」が11月11日、本郷第三区民会館で開かれ、地域のお年寄りなど約60人が参加しました。

参加者は会員手作りのとん汁などを食べながら、カラオケで自慢のものを披露したり、伸び伸び体操などをし、地域の人たちとの交流を楽しみました。

多彩な秋の幸が勢ぞろい

第22回白石市農業祭



恒例の農業祭が11月4日と5日の両日、ホワイトキューブで開かれ、市内外から訪れた約41,000人が収穫の秋を祝いました。

丹精込めて育てた野菜や穀物などが出品された農林産物コンテストや、新米や旬の味覚を格安で販売する農産物市場などおなじみのコーナーは、オープンと同時ににぎわいを見せていました。



デイサービスを楽しみながら

「福祉の里」の模型を作製



デイサービスセンター茶園を利用している約120名のお年寄りが、総合福祉センターなどを取り込んだ「福祉の里」の模型を作製しました。

これは、デイサービスの日常動作訓練の一環として行われたもので、製作期間は約1カ月。素材は段ボールを使用し、ちぎり絵で丹念に色付けされています。

この模型は、特別養護老人ホームえんじゅの玄関に展示されています。福祉事務所などへお立ち寄りの際は、ぜひご覧になってください。

プロを目指して

野球レクチャー教室



白石川緑地公園野球場で10月29日、元プロ野球選手を招いた「野球レクチャー教室」が、第8回白石市生涯学習フェスティバル事業の一環として開かれ、市内の小中学生約220人が参加しました。

指導に当たったのは、白石高校出身でヤクルトの打撃コーチなどを務めた佐藤孝夫さんと、東北高校出身で阪神などで投手として活躍した若生智男さんの二人。子供たちは、投球フォームやベースランニングなどの実技指導を真剣に受けていました。

蔵王おろしに負けずに実る

大網地区でソバを収穫



10月20日、福岡八宮の大網地区で、1.3㍏の段々畑に作付けされたソバの刈り取りが行われました。

このソバ畑は、生産調整対策で牧草地になっていた水田を今年の夏、白石市重点作物作付促進事業として県と市の補助を受け、八宮農業生産組合がソバ畑としたものです。

刈り取りには、柴田町の柴田高原そば生産組合からチャーターしたソバ刈り取り専用コンバインを使用。収穫されたソバは、地域おこしに活用される予定です。

城を背に大輪の菊花

第2回白石城菊花展

10月26日から11月12日まで、白石城本丸内特設会場において、白石城菊花展が開催されました。



この菊花展には、市内の菊愛好家約20人が育て上げた鉢植え菊225点が出品、展示されました。白や黄色の鮮やかな大菊、小菊の見事さと香りが、白石城を訪れた観光客の目を楽しませていました。

十一月九日、全国市長会の役員会が麹町の都市会館で持たれた。役員会の前に行われた正副会長及び四分科会会長と各支部長で構成される政策推進委員会での四つの決議がなされた。

- ・ 地方分権の推進に関する決議
- ・ 都市税財源の充実確保に関する決議
- ・ 介護保険制度に関する決議
- ・ 都市基盤整備施設の整備促進に関する決議

そして、これを国に要請すべく各副会長が合同で首相官邸を訪れ、新しく就任された福田官房長官に決議書を手渡した後、しばしば雑談した。

名刺を眺めていた官房長官が「失礼ですが、白石市はどこにあるんですか。」と聞く。こっちは頭にきましたね。同じ副会長の岡山や岐阜、高知などは名前を知って当然とは思いますが、白石市を知らないとはねえ。



長官は福田元総理の子息で群馬県選出でしよう。三日後に群馬県沼田市で真田サミットが開かれるし、全日本こけしコンクールでは群馬県から審査員をお願いしているのに情けない。

でも、名刺を見ると、そこには、全国市長会副会長白石市長川井貞一とだけで、住所も何も記していない。しゅつがないから、白石市は宮城県で仙台と福島のうちうど中間にあります。有名な蔵王山の山ろくです。「ああそうですか。しろいしをしろいしと読まれても腹が立つのがっかりである。ともあれ、六年間、ずっと宮城県市長会の

副会長を務めていて全国市長会とは無縁だったが、この時の役員会では、昔なじみの市長が多数声を掛けて下さりうれしかった。話は変わるが、以前にも引用したことのある私のペンフレンドの竹内廣さんから頂いたハガキを紹介しよう。

全国市長会副会長さんに、おなりあそばしたら、いろんなことを聞かされると存じます。「ひら坂名の市は何市?」

あきる野市、いわき市、えびの市、つくば市、ひたちなか市、むつ市

「はい、むつ(六)市あります」

洒落の効いた内容でした。ところどころにも収まらないので、十一月、群馬県沼田市で真田サミットが開かれたとき、発言の冒頭でかましてやった。

「私は、先日、機会がありましたら御県選出の福田官房長官にお会いしましたが、長官は白石のことを存じなかったようです。沼田市で全国植樹祭が行われたのが、平成十年、その前年には白石市で開催されているのに何

と情けない。それで群馬県には来たくなかったのですが、何せ沼田の西田市長さんからぜひ来いとの誘いを受けたのであえて参りました。……

満場爆笑であった。

昼食の時、例の上高森遺跡における藤村某の石器発掘つ造が話題になった。ある首長いわく、「どうも宮城県に石はタブーですね。何年前か、仙台の市長が問題を起こした時、名前に石という字が付く方でした。最近、仙台の石垣の問題で議論が別れているようですが、仙台の藤井市長はご難儀なことでしょう。そして、今回の上高森遺跡ですもんね。」

全く一言も無しである。

そこでまたまた、竹内さんのハガキ。石垣問題でこじれている時、藤井仙台市長に出したら、その返事にいわく、「石という石の顔見たくないというのが私の意志。」

今の市長さんが藤を愛でて、前市長が石にこだわれば良かったのに……見事ですな。